

プラス1ピースの読書会

～あなたの読書体験に一片のいろどりを～

Vol. 12

『言語学講義 ―その起源と未来』



広範な学問領域を拓いてきた言語学も、
AI 時代の変化や、亡びる言語の問題など、
転換点に立っている。多岐にわたる全体像や、
基本の構造を俯瞰し、言語学の現在の
問題点を照射する。
～朝日新聞書評欄より～

新しい言語学の見取り図

拡大、更新し続ける現代の言語学。AI、ジェンダー、グローバル化、
公用語、言語死など、言語に関して新たな枠組みや議論が求められて
います。そろそろ再構成の時期が来たかな、と感じた加藤先生が、豊
富な事例とトピックを用いて、言語学の新しい全体像を浮かびあがら
せました。

この表現は正しいのか?、「正しい日本語」という呪縛にとらわれ
ていませんか?正しさを求めるとコミュニケーションはギクシャクす
る、と加藤先生は言います。ことばとの付き合い方をはじめ、さまざ
まな話題を通して、言語学の面白さ、楽しさ、問題点、悩みを味わっ
てください。

加藤先生に、執筆のエピソードや本書で目指したこと、最新の言語
学についてお話しいたしましょう。

日時：2019年10月24日(木)

12：20 ～ 12：45 12：45以降5分程度Q&Aタイムあり

場所：北海道大学文学研究院「書香の森」
(玄関ホール横)

著者・おはなし：加藤 重広 先生
(言語科学研究室 教授)

今回のプラス1ピースは？



執筆しながら
加藤先生が思い描いた
ユートピアとは？

お問い合わせ先：

北大 文学研究院 研究推進室

Tel: 011-706-4083

詳しい内容：

文学研究院ウェブサイト イベント情報

<https://www.let.hokudai.ac.jp/>

主催：北海道大学 大学院文学研究院

